

大学番号：私045

注3

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

人間総合科学大学 人間科学部 ヘルフト サイソ学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人早稲田医療学園

平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 人間科学部

職名・氏名 キョウゴ 教務主任 ハセガワ 長谷川 マコト 誠

電話番号 048-749-6111

（夜間） 048-749-6111

F A X 048-749-6110

e-mail makoto_hasegawa@human.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人間科学部

<ヘルスフードサイエンス学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	23
別紙 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見	

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人早稲田医療学園

(2) 大学名

人間総合科学大学

(3) 大学の位置

〒339-8539

埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(クシミ マリ) 久住 眞理 (平成3年4月)		
学長	(クシミ マリ) 久住 眞理 (平成16年4月)	(クシミ タケシ) 久住 武 (平成29年4月)	学長退任のため 平成29年4月(29)
学部長	(ダイトウ シュンイチ) 大東 俊一 (平成27年4月)	(スズキ ハルエ) 鈴木 はる江 (平成28年7月)	学部長死亡による退任のため 平成28年7月(29)
学科長等	(クワタ タモツ) 桑田 有 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間科学部 ヘルソド・サイエンス学科 学士(食品健康科学)	家政学	4年	80人	— 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人 (-) [-]	- 人	人	人	人	人	人	人	0.08 倍	
志願者数	9 (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	9 (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	9 (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	7 (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	0.08									

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	7 [-] (-)	- [] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	7 [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	7人	0人	平成29年度	0人	0人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	人	平成32年度	人	人		#DIV/0! %
合計	7人	0人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科>

(1) 授業科目表

科目区分	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎分野	コア科目	心身健康科学概論	1前	2			3				1		兼13 兼9 教育内容の充実のため、担当教員を追加 (29)	
		行動科学概論	3後	1									兼1	
		生命科学概論	1前	1									兼1	
	基礎科目	こころの科学	1前	2									兼1	
		化学基礎	1前	2									兼1	教育効果を考慮し、担当教員を変更 (29)
		生物学基礎	1前	2							1		兼1	教員の所属変更 (29)
		生化学	2前	2							1		兼1	教員の所属変更 (29)
		有機化学	1後 2後		2			1					兼1	教育効果を考慮し、配当年次及び担当教員を変更 (29)
		無機化学	2前 2後		2			1					兼1	教育効果を考慮し、配当年次及び担当教員を変更 (29)
		食品微生物学	1後 2前	2	2			1			1			教育効果を考慮し、配当年次及び必修、選択を変更。また、担当教員が退職のため、担当教員を変更 (29)
		細胞と遺伝子	3前		2								兼1	
		基礎統計演習	3前	2									兼2	
		英語基礎	1前	2									兼1	担当教員が退職のため、担当教員を変更 (29)
		食文化論	2前	2				1						
		コンピュータ入門	1前	2									兼2	担当教員が退職のため、担当教員を変更 (29)
		論理学—論理的思考と表現法	1後	1									兼1	
		数学	1前	1									兼1	教育効果を考慮し、担当教員を変更 (29)
		ストレスと食・健康	1後	1				2					兼1	教育効果を考慮し、担当教員を変更及び追加 (29)
		職業とキャリア形成	1前	1				1						教育効果を考慮し、担当教員を変更 (29)
		コミュニケーション演習	1前	1				2 1			1		兼6	教育内容の充実のため、担当教員を変更及び追加 (29)
体育概論	1前	1									兼1	担当教員が退職のため、担当教員を変更 (29)		
スポーツと健康	1後	1									兼2 兼1	担当教員が退職のため、担当教員を変更及び追加 (29)		

専門基礎分野	食品・栄養の基礎	食品学総論	1前	2		1				<p>教育内容の充実のため、担当教員を追加（29）</p> <p>教育効果を考慮し、担当教員を変更（29）</p> <p>兼1 教育効果を考慮し、担当教員を変更（29）</p> <p>兼1 教育効果を考慮し、配当年次を変更（29）</p> <p>兼1 教育効果を考慮し、配当年次を変更（29）</p> <p>教育効果を考慮し、担当教員を変更（29）</p> <p>教育効果を考慮し、配当年次及び担当教員を変更（29）</p> <p>兼1 教育効果を考慮し、配当年次及び担当教員を変更・追加（29）</p>	
		食品学各論	1後		2	3 +		1			
		食品学実験Ⅰ	1後	1			1				
		食品学実験Ⅱ	3後	1			1				
		食の科学	1後	2			1				
		食品素材論	2前 2後	2							
		調理学	1後 2前	2							
		栄養と代謝	1後	2			1	+			
		栄養代謝実験	3前		1 2		1		+		
		食品加工基礎	1後	2			1				
		食品加工基礎実習	1後	1			1				
		食生活と健康	1後 2前	2			2		+		
		食品管理論	2前	2			1				
		食品衛生学	2前	2			1				
		食品衛生学実験	2後	1			1				
	人間理解の基礎	生化学実験	2後	1						兼1	
		身体の構造と機能	1前	2				+		兼1 教育効果を考慮し、担当教員を変更（29）	
		病気の成り立ち	2前	2					+	兼1 教員の所属変更（29）	
		解剖生理学実習	2前	1					+	兼1 教員の所属変更（29）	
		食品醗酵学	2前	2			1				
		免疫学	3後	2			+			担当教員が退職のため、現在後任を検討中。平成31年度後期開講予定。（29）	
		感染症学	3後	2			+			担当教員が退職のため、現在後任を検討中。平成31年度後期開講予定。（29）	

専門分野	ヘルスフードサイエンス分野	ヘルスフードサイエンス	3前	2			1					兼1	教育効果を考慮し、担当教員を変更 (29)			
		ブレインサイエンス	2後		2											
		公衆衛生学Ⅰ	2後	2			1									
		公衆衛生学Ⅱ	3前		2		1									
		シンバイオティクス	3前		2									兼1		
		分析化学	3前		2		1		+						教育効果を考慮し、担当教員を変更 (29)	
		応用微生物学実験	3前		1		+				1				担当教員が退職のため、担当教員を変更 (29)	
		応用栄養学実習	2後		1						+				兼1	教員の所属変更 (29)
		栄養分析学実験	3前		1		1				+				教育効果を考慮し、担当教員を変更 (29)	
		公衆栄養学	2後	2											兼1	担当教員が退職のため、担当教員を変更 (29)
		ライフステージ栄養学 (栄養指導論)	2後		2		1									
		ライフステージ栄養管理実習 (栄養指導論)	3前		1		1									
		ヘルスサイエンスリサーチ	4前		2		1									
		食品官能評価	4前		2										兼1	
		栄養遺伝子学 (ニュートリゲノミクス)	4後		2										兼1	
	食品機能評価	4後		2		1										
	フードマネージメント分野	調理学実習Ⅰ	2後		1								兼1			
		調理学実習Ⅱ	3前		1								兼1			
		総合調理実習	4前		2								兼1			
		給食の運営管理論	2前		2								兼1			
		給食経営管理実習 (校外実習)	2通		2								兼1			
		食品工学総論	2前		2								兼1			
		フードマネジメント論	3後	2			1									
		食品加工貯蔵学	3前		2		1									
		食品加工応用	2後		2		1									
		分子調理学	3前		2								兼1			
		食品機能学	3後	2									兼1			
		食品分析学	3後		2		1									
食品生命科学		3後		2								兼1				
機能性食品学Ⅰ	4前		2		1						兼1					
機能性食品学Ⅱ	4後		2								兼1					
機能性評価科学	3後 4後		2								兼1	教育効果を考慮し、配当年次を変更 (29)				

専門分野	グローバルビジネス分野	フードシステム学	3前	2		1					
		食品の経営学	3前	2						兼1	
		食品流通学	3前		2					兼1	
		食品資源論	2後		2					兼1	
		食品生産流通学実習（視察）	3後		1		1				
		フードスペシャリスト論	3後		2		1				
		フードコーディネート論	3後		2		1				
		健康科学英語（心身、食品、健康、衛生）	2前		2					兼1	
		国際英語（プレゼンテーション）	2後		2					兼1	担当教員が退職のため、現在後任を検討中。平成30年度後期開講予定。（29）
		食品安全等国際制度論	4前	2						兼1	
		グローバルヘルスフード開発	4前		2		1				
		フードセーフティ入門	4後		2		2				
		食品リスク管理論	4前		2					兼1	
		食環境生産教育実習	3後		2		1				
		国際産学連携論	4前		2					兼1	
		トレーサビリティ論	4後		2					兼1	
		フードビジネス関連法規	4後		2					兼1	
		卒業研究指導	インターンシップ	3		2		6 5		+	1
卒業研究	4			2		6 5		+	1		教員の所属変更（29）

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
37	58	—	95	38	57		95	
				[+1]	[△1]	[]	[±0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

該当なし

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{95} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	22,647㎡	0㎡	0㎡	22,647㎡			
	運動場用地	2,837㎡	0㎡	0㎡	2,837㎡			
	小 計	25,484㎡	0㎡	0㎡	25,484㎡			
	そ の 他	1,923㎡	0㎡	0㎡	1,923㎡			
	合 計	27,407㎡	0㎡	0㎡	27,407㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	記載内容の誤りによる 訂正 (29)		
		17,694 17,964㎡ (17,694 17,964㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	17,694 17,964㎡ (17,694 17,964㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
		33室	4室	25室	2室 (補助職員2人)	1室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科			7 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学科単位での 特定不能なため 大学全体の数
	人間科学部	42,400 [4,480] (42,559 [4,341]) (38,547 [4,072])	7,003 [2,533] (7,148 [2,516]) (6,367 [2,303])	55 [55] (60 [60]) (51 [51])	2,049 (2,039) (2,006)	9,518 (7,940)	190 (180)	
	計	42,400 [4,480] (42,559 [4,341]) (38,547 [4,072])	7,003 [2,533] (7,148 [2,516]) (6,367 [2,303])	55 [55] (60 [60]) (51 [51])	2,049 (2,039) (2,006)	9,518 (7,940)	190 (180)	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		738.15㎡	226	82,500				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		523.89㎡	フットサルコート1面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	一千円	300千円	図書購入費	20,000千円	20,000千円	20,000千円
		共同研究費等	一千円	3,000千円	設備購入費	30,000千円	30,000千円	30,000千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,600千円	1,600千円	1,600千円	1,600千円	一千円	一千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、資産運用収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	人間総合科学大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編 入 学 員	収 定 容 員	学位又 は称号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間科学部									
心身健康科学科 (通信教育課程)	4	500	-	3,500	学士 (人間科学)	0.55	平成12年度	埼玉県さいたま市 岩槻区馬込1288番地	平成29年度 人間科学より名称変更
健康栄養学科	4	80	-	320	学士 (健康栄養 学)	1.02	平成17年度	同上	
《AC対象学部等》									
ヘルソフトサイエンス学科	4	80	-	320	学士 (食品健康科 学)	0.08	平成29年度	同上	
保健医療学部	4								
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.12	平成23年度	埼玉県さいたま市 岩槻区太田字 新正寺曲輪354-3	
リハビリテーション学科	4	70	-	280		0.99	平成23年度	同上	
理学療法学専攻	4	40	-	160	学士 (理学療法 学)	1.04	平成23年度	同上	
義肢装具学専攻	4	30	-	120	学士 (義肢装具 学)	0.91	平成23年度	同上	
大学院									
人間総合科学研究科									
心身健康科学専攻									
修士課程 (通信教育課程)	2	30	-	60	修士 (心身健康科 学)	1.25	平成16年度	埼玉県さいたま市 岩槻区馬込1288番地	
博士後期課程 (通信教育課程)	3	9	-	27	博士 (心身健康科 学)	1.04	平成19年度	同上	
健康栄養科学専攻									
修士課程	2	5	-	10	修士 (健康栄養科 学)	0.3	平成21年度	同上	
《AC対象学部等》									
臨床心理学専攻									
修士課程 (通信教育課程)	3	15	-	45	修士 (臨床心理 学)	0.87	平成28年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専 教授	桑田 有	平成29年4月	心身健康科学概論							平成29年4月 教育効果を考慮し、担当教員を変更(29)
			食品加工貯蔵学							
			フードシステム学							
			ヘルスフードサイエンス	専	教授	時光 一郎	平成29年10月	ヘルスフードサイエンス		
			フードセーフティ入門							
			食品生産流通学実習(視察)							
			食環境生産教育実習							
			グローバルヘルスフード開発							
専 教授	丸井 英二	平成29年4月	公衆衛生学Ⅰ							
			公衆衛生学Ⅱ							
			ヘルスサイエンスリサーチ							
			フードセーフティ入門							
専 教授	岩切 大	平成29年4月	食品微生物学	専	助教	宮 聡子	平成29年4月	食品微生物学	平成29年3月 岩切大教授退職のため、担当教員を変更(29) 平成29年3月 岩切大教授退職のため、現在後任を検討中、平成31年度後期開講予定(29) 平成29年3月 岩切大教授退職のため、現在後任を検討中、平成31年度後期開講予定(29) 平成29年3月 岩切大教授退職のため、担当教員を変更(29)	
			免疫学			後任未定		免疫学		
			感染症学			後任未定		感染症学		
			応用微生物学実験	専	助教	宮 聡子	平成29年4月	応用微生物学実験		
専 教授	中西 由季子	平成29年4月	心身健康科学概論						平成29年4月 教育効果を考慮し、担当教員を変更(29)	
			職業とキャリア形成	専	教授	桑田 有	平成29年4月	職業とキャリア形成		
			ライフステージ栄養学(栄養指導論)							
			ライフステージ栄養管理実習(栄養指導論)							
			食品分析学							
			食品機能評価							
			機能性食品学Ⅰ							
			フードスペシャリスト論							
			フードコーディネータ論							
			フードマネジメント論							

専 教授	玉木 雅子	平成29年4月	心身健康科学概論									
				兼任	教授	白石 弘美	平成29年4月					
				兼任	教授	渡邊 成	平成29年4月					
			コミュニケーション演習	兼任	講師	中沢 麻理	平成29年4月	コミュニケーション演習			平成29年4月 教育内容の充実のため、担当教員を追加 (29)	
				兼任	助教	大出 理香	平成29年4月					
				兼任	助教	岩崎 有希	平成29年4月					
			食品学総論									
				専	教授	桑田 有	平成29年4月					
			食品学各論	専	教授	時光 一郎	平成29年10月	食品学各論			平成29年4月 教育内容の充実のため、担当教員を追加 (29)	
				専	助教	宮 聡子	平成29年4月					
			食品管理論									
			食文化論									
			食品学実験Ⅰ	専	教授	中西 由季子	平成29年4月	食品学実験Ⅰ			平成29年4月 教育効果を考慮し、担当教員を変更 (29)	
			食品学実験Ⅱ									
			食品衛生学									
食品衛生学実験												
食品加工基礎												
食品加工基礎実習												
食品加工応用												
食品発酵学												
専 講師	矢島 孔明	平成29年4月	コミュニケーション演習	専	教授	桑田 有	平成29年4月	コミュニケーション演習	平成29年4月 教育内容の充実のため、担当教員を変更及び追加 (29)			
				専	教授	中西 由季子	平成29年4月					
			生物学基礎	兼任	講師	矢島 孔明	平成29年4月	生物学基礎	平成29年4月 教員の所属変更 (29)			
			生化学					生化学				
			身体の構造と機能	兼任	教授	渡邊 成	平成29年4月	身体の構造と機能	平成29年4月 教育効果を考慮し、担当教員を変更 (29)			
			分析化学	専	教授	時光 一郎	平成29年10月	分析化学	平成29年4月 教育効果を考慮し、担当教員を変更 (29)			
栄養と代謝	専	教授	中西 由季子	平成29年4月	栄養と代謝	平成29年4月 教育効果を考慮し、担当教員を変更 (29)						

専 助教	平子 哲史	平成29年4月	心身健康科学概論	兼担	助教	平子 哲史	平成29年 4月	心身健康科学概論	平成29年4月 教員の所属変更 (29)					
			病気の成り立ち					病気の成り立ち						
			解剖生理学実習					解剖生理学実習						
			応用栄養学実習					応用栄養学実習						
			食生活と健康					食生活と健康						
専	教授	生貝 初	平成29年 4月	食生活と健康	平成29年4月 教育効果を考慮し、担当教員を 変更及び追加 (29)									
専	教授	時光 一郎	平成29年10月											
専	教授	中西 由季子	平成29年 4月	栄養代謝実験	平成29年4月 教育効果を考慮し、担当教員を 変更 (29)									
専	教授	中西 由季子	平成29年 4月	栄養分析学実験	平成29年4月 教育効果を考慮し、担当教員を 変更 (29)									
兼担 教授	久住 真理	平成29年4月	心身健康科学概論	兼担	教授	久住 武	平成29年 4月	心身健康科学概論	平成29年3月 久住真理教授学長退任のため、担 当教員を変更 (29)					
兼担 教授	久住 武	平成29年4月	基礎統計演習											
兼担 教授	鈴木 はる江	平成29年4月	心身健康科学概論	兼担	教授	渡邊 成	平成29年 4月	心身健康科学概論	平成29年4月 教育効果を考慮し、担当教員を 追加 (29)					
			兼担							助教	大出 理香	平成29年 4月		
			兼担							助教	岩崎 有希	平成29年 4月		
			専							教授	桑田 有	平成29年 4月	ストレスと食・健康	平成29年4月 教育効果を考慮し、担当教員を 変更及び追加 (29)
			専							教授	中西 由季子	平成29年 4月		
兼担 教授	島田 凉子	平成29年4月	こころの科学											
兼担 教授	小岩 信義	平成29年4月	心身健康科学概論 基礎統計演習											
兼担 教授	白石 弘美	平成29年4月	心身健康科学概論											
兼担 教授	熊谷 修	平成29年4月	心身健康科学概論	兼担	講師	中沢 麻理	平成29年 4月	心身健康科学概論	平成29年3月 熊谷修教授退職のため、担当教員 を変更 (29)					
			公衆栄養学					公衆栄養学		平成29年3月 熊谷修教授退職のため、担当教員 を変更 (29)				
兼担 教授	庄子 和夫	平成29年4月	生命科学概論	兼任	助教	岩崎 有希	平成29年 4月	化学基礎	平成29年4月 教育効果を考慮し、担当教員を 変更 (29)					
			化学基礎					化学基礎						
			生化学実験											
			細胞と遺伝子											
			有機化学					専		教授	時光 一郎	平成29年10月	有機化学	平成29年4月 教育効果を考慮し、担当教員を 変更 (29)
無機化学	専	教授	生貝 初	平成29年 4月	無機化学	平成29年4月 教育効果を考慮し、担当教員を 変更 (29)								
兼担 教授	吉田 浩子	平成29年4月	行動科学概論											

兼担 教授	遠藤 隆行	平成29年4月	健康科学英語 (心身、食品、健康、衛生) ブレインサイエンス 食品機能学 食品生命科学						
兼担 教授	大塚 博	平成29年4月	数学	兼担 助教	鈴木 淳子	平成29年 4月	数学		平成29年4月 教育効果を考慮し、担当教員を変更 (29)
兼担 准教	梅國 智子	平成29年4月	心身健康科学概論 調理学 食の科学 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 総合調理実習						平成29年4月 教育効果を考慮し、担当教員を変更 (29)
兼担 助教	高原 皓全	平成29年4月	心身健康科学概論	兼担 准教	藤原 宏子	平成29年 4月	心身健康科学概論		平成29年3月 高原皓全助教退職のため、担当教員を変更 (29)
			コンピュータ入門	兼担 助教	鈴木 淳子	平成29年 4月	コンピュータ入門		平成29年3月 高原皓全助教退職のため、担当教員を変更 (29)
			体育概論	兼担 講師	弓削田 彩乃	平成29年 4月	体育概論		平成29年3月 高原皓全助教退職のため、担当教員を変更 (29)
			スポーツと健康	兼担 講師	弓削田 彩乃	平成29年 4月	スポーツと健康		平成29年3月 高原皓全助教退職のため、担当教員を変更及び追加 (29)
				兼任 講師	高橋 紀子	平成29年 4月			
兼担 助教	朴峠 周子	平成29年4月	心身健康科学概論 コンピュータ入門						
兼担 助教	鈴木 恵美	平成29年 4月	心身健康科学概論 給食の運営管理論 給食経営管理実習 (校外実習)						
兼任 教授	大澤 俊彦	平成29年 4月	シンバイオティクス 食品官能評価 栄養遺伝子学 (ニュートリゲノミクス) 機能性食品学Ⅰ 機能性食品学Ⅱ 機能性評価科学 分子調理学						

兼任 教授	大谷 敏郎	平成29年4月	食品素材論						
			食品工学総論						
			食品資源論						
			食品リスク管理論						
			国際産学連携論						
			食品安全等国際制度論						
			トレーサビリティ論						
			フードビジネス関連法規						
			食品の経営学						
			食品流通学						
兼任 講師	岡野 幸江	平成29年4月	論理学—論理的思考と表現法						
兼任 講師	奥下 香	平成29年4月	英語基礎	兼任 講師	織田 佐由子	平成29年4月	英語基礎	平成29年3月 奥下香講師退職のため、担当教員を変更（29） 平成29年3月 奥下香講師退職のため、現在後任を検討中。平成30年度後期開講予定。（29）	
			国際英語（プレゼンテーション）		後任未定		国際英語（プレゼンテーション）		

- (注) ・ 申請書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
7 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
5	0	1	1	7	5	0	0	1	6	6	0	0	1	7
(5)	(0)	(0)	(1)	(6)						[+1]	[±0]	[△1]	[±0]	[±0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	1 名	2 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	岩切 大	必修	食品微生物学	①	平成29年3月 人間総合科学大学を退職したため就任辞退（29）			
			選択	免疫学	③				
			選択	感染症学	③				
			選択	応用微生物学実験	①				
2	講師	矢島 孔明	必修	生物学基礎	②	平成29年4月 人間科学部心身健康科学科専任に就任したため就任辞退（29）			
			必修	生化学	②				
			必修	コミュニケーション演習	①				
			必修	栄養と代謝	①				
			必修	身体の構造と機能	②				
			選択	分析化学	①				
3	助教	平子 哲史	必修	心身健康科学概論	①	平成29年4月 人間科学部健康栄養学科専任に就任したため就任辞退（29）			
			選択	栄養代謝実験	①				
			必修	食生活と環境	①				
			選択	病気の成り立ち	②				
			選択	解剖生理学実習	②				
			選択	応用栄養学実習	②				
			選択	栄養分析学実験	①				
合計（A）				後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
3	人	必修	8 科目	必修	5 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
		選択	9 科目	選択	4 科目	選択	3 科目	選択	2 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	17 科目	計	9 科目	計	6 科目	計	2 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1		該当なし						
2								
合計（C）				後任補充状況の集計（D）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計(A) + (C)			後任補充状況の集計(B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
3 人	必修	8 科目	必修	5 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
	選択	9 科目	選択	4 科目	選択	3 科目	選択	2 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	17 科目	計	9 科目	計	6 科目	計	2 科目

- (注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

岩切大教授(人間科学部人間科学科・平成29年3月)のやむを得ない退職及び矢島孔明講師(人間科学部心身健康科学科・平成29年4月)、平子哲史助教(人間科学部健康栄養学科・平成29年4月)の他学科就任に伴い、生貝初教授(平成29年4月)、宮聡子助教(平成29年4月)、時光一郎教授(平成29年10月)を本学科の専任教員とした。
 なお、学生には、ガイダンス時における教員紹介、シラバス、時間割により周知されている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年10月)	<p>・人間科学部人間科学科（通信教育課程）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること</p> <p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること</p>	<p>留意事項</p> <p>・人間科学部心身健康科学科（平成29年度より人間科学科より名称変更）の入学定員を平成29年度入学生より1,000名から500名に変更した。（29）</p> <p>留意事項</p>	<p>・教員組織編制の将来構想を着実に実行する。（29）</p>
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	<p>・同一設置者が設置する既設学部等（○○学科、●●学科）の～すること。</p>		

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

- ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
卒業要件単位数 130単位 必修科目61単位, 選択科目69単位	卒業要件単位数 130単位 必修科目63単位, 選択科目67単位 (教育効果を考慮し、「食品微生物学」を選択科目から必修科目への変更)

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学では、「FD・SD推進委員会」を設置し、FD活動を計画・実施している。
 (平成19年度～平成22年度「FD推進室」、平成23年度～平成27年度「FD推進委員会」、平成28年度～「FD・SD推進委員会」として規程、運営方法の見直しも行いながら、機動的な活動展開を実施している。)

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

本学のFD・SD推進委員会は、平成28年度構成員15名(教員11名、職員4名)とし設置。
 このような構成員及び出席者により、平成28年度は、年4回開催した。

c 委員会の審議事項等

FD・SD推進委員会 (FD・SD推進委員会規程第7条)

- (1) FD及びSD活動方針に関する事項
- (2) 授業アンケート、卒業生アンケート等FDの実施に関する事項
- (3) FD機関紙に関する事項
- (4) FD・SD研修プログラムの開発・実施に関する事項
- (5) その他FD及びSDに関する重要な事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ FD研修会
- ・ 新任教員のための研修会
- ・ 教員相互の授業参観及び意見交換会
- ・ 学生による授業評価アンケート
- ・ 機関誌の発行 等

b 実施方法

- ・ FD研修会：テーマを決め、全教職員を対象に定期的開催
- ・ 新任教員のための研修会：着任時に新任教員対象に研修会を実施
- ・ 教員相互の授業参観及び意見交換会：各学科で授業参観の対象教員及び科目を決定し、年間を通じて全教員を対象に実施
- ・ 学生による授業評価アンケート：全ての授業について、各授業終了時に実施
- ・ 機関誌の発行：FD研修会及び教員相互の授業参観等における内容を機関誌 (News Letter) にて発行

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FD研修会 年6回
- ・新任教員のための研修会 1回
- ・教員相互の授業参観及び意見交換会 10教員10科目
- ・学生による授業評価アンケート 年2回
- ・機関誌の発行 年2回

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・FD研修会及び教員相互の授業参観を通じて、自分自身の研究領域及び研究に対する視野を広げ相関性を持つと共に、教育の資質向上に努めている。
- ・学生による授業評価アンケートの集計結果に対して、各教員に授業改善提案書を提出させることで、授業改善に努めている。
- ・本学での取組みを機関誌として発行することで、振り返り及び新着任教員への周知徹底に役立っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施 有
実施時期 各授業終了時に実施（集計春期・秋期の年2回）

b 教員や学生への公開状況，方法等

- ・Webシステム（Uhas@Myキャンパス）上で、教員や学生へ集計結果を公開している。
- ・ホームページ上で概要を公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

（別紙のとおり）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・『自己点検評価書』（平成27年度）平成28年4月1日公表開始
- ・『自己点検評価書』（平成24年度）、『自己評価報告書』（平成20年度）、『人間総合科学大学 自己点検・評価報告書（2000-2003年度）』は過年度に公表済

b 公表方法

- ・『自己点検評価書』（平成27年度）、『自己点検評価書』（平成24年度）、『自己評価報告書』（平成20年度）は大学ホームページ上にて公表
- ・『人間総合科学大学 自己点検・評価報告書（2000-2003年度）』は大学事務局

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成27年度に評価機関（財団法人日本高等教育評価機構）による大学機関別認証評価を受審し、「適合」と認定された。今回は、6年以内に受審予定。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (2017 年 5 月 15 日)

(別紙) 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成 29 年度開設にあたり、ヘルスフードサイエンス学科の設置目的を達成すべく、以下の取り組みを実施した。

1. 教育研究・人材養成

教育研究、特に人材育成に関し、本学科の教育の目的『人間の総合的・科学的な理解と「食・栄養」について幅広く学び、食の安全・安心、リスク管理と国際的な食のマネジメントの総合的な知識と技術を身につけた人材を養成することを目的とします。』のうち、本学の特色である「人間の総合的・科学的な理解」を達成するため、コア科目となるオムニバス授業「心身健康科学概論」を、食・栄養の観点から「生命」「人間」「健康」を統合的・科学的視点から探求する能力を涵養により深く身につけられるよう担当教員の増員を図った。

更に、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定めている、学生が将来の進路に沿って系統的に学べるよう、就職を意識した資格取得に必要な科目について、「有機化学」「無機化学」「食品微生物学」「食品素材論」「食生活と健康」「調理学」「機能性評価科学」の 7 科目の配当年次を変更するとともに、「食品微生物学」を選択から必修科目へと変更することで、学生が就職活動時に資格取得（見込み）でき、且つ涵養に身につけられるよう、カリキュラム編成を実施し、教育効果の向上を図った。

2. 初年次教育

初年次教育に関し、本学科の教育の目的及び方針に定めている、国際的に活躍できるグローバル人材育成の目的の取組みの一つとして、「英語基礎」（1 年次）、「健康科学英語（心身、食品、健康、衛生）」（2 年次）、「国際英語（プレゼンテーション）」（3 年次）と段階を踏んで学修できる科目配当としているが、入学前教育で図った基礎学力を顧み、1 年次に TOEIC 試験を実施し、2・3 年次に配当される科目の予備学修の一環として、クラス分けを行った補講授業を 1 年次に「英語基礎」と平行して開講することとした。

高等学校の学習から大学の学修への円滑な移行ができるよう、学力確認をしながら希望者を対象に、専任教員による補講授業を実施する。今年度前期は、先の「英語」を含め、「微生物学入門」、「化学基礎」、「社会人基礎力」、「パソコンアプリ」の 5 科目を開講とした。

また、キャリア教育では、学生が早い段階で大学生活と将来の進路を考え学べるよう、1 年次前期配当科目「職業とキャリア形成」を、実務経験を持つ専任教員に担当変更することにより、より実践的に学生が学修できる授業内容とした。また、「コミュニケーション演習」では、本学健康栄養学科と共同として、担当教員を増員することにより、学科を超えた幅広い分野でのコミュニケーション能力の向上、課題発見・解決能力を養うことができる授業内容とした。

3. 入学者確保

今年度入学者は、入学定員 80 名に対し 7 名であったが、「学生確保の見通し等を記載した書類」にある様に、本学科は十分定員充足ができる需要があることが見込まれている。今年度は、昨年度の広報活

動を顧み、本学及び本学科の紹介を拡充し、多様な角度・切り口から魅力を伝え、タイムリーに広く多くの情報を発信していくこととしている。具体的内容としては、(1) オープンキャンパス・学校見学会回数の増大及び魅力・特徴ある内容への変更 (2) ホームページの学科紹介ページ拡充及びブログや SNS を使用した動画映像の配信 (3) 訪問高等学校数の拡大と内容の充実 (4) 進学情報雑誌掲載数の拡大 (5) 地域イベントへの参加等を実施していくこととしている。なかでも、高校訪問では、本学教員が高等学校へ出向き、定期的に行う講義や高等学校と本学が連携した教育を推進すべく、高大連携を見据えた訪問としていくことを計画している。また、本学は、蓮田市及びさいたま商工会議所と平成 28 年度に包括連携協定を結んでおり、大学全体として、地域発展に貢献しながら、本学科の魅力、特色を幅広く伝えていくこととしている。

4. 施設・設備の整備状況

施設・設備の整備計画においては、実験室不足、研究室不足が生じないよう事前に対応済みであり、問題は生じていない。図書においても約 4,000 冊を整備し、一層の充実を図ることとしている

これらの状況から、ヘルスフードサイエンス学科は設置の趣旨・目的の達成に向けた取り組みを着実に履行していると判断するとともに、今後も設置の趣旨・目的を達成すべく、教育・研究活動を推進していく所存である。